

Windows10 WSL2 のC言語開発環境

build-essential パッケージをインストール

`apt install` コマンドで、`build-essential` パッケージをインストールします。

```
sudo apt install build-essential
```



ターミナル上で `cc` コマンド (C言語コンパイラです) を入力し、

```
cc
```

以下のように「エラー：入力ファイルがありません」と言われたら準備完了です。



(おまけ) 簡単なC言語のプログラミングソースをコンパイルしてみる

Ubuntu Linux に最初から入っている `nano` というテキストエディタで、試しに簡単にCコードを書いてコンパイルしてみましょう。ただし、実際の演習では Visual Studio Code などのより高機能なエディタを使うことをお勧めします。

編集したいファイル名を指定して `nano` を実行します。

```
nano hello.c
```

`nano` が起動したら、適当なCのソースコードを入力してみましょう。



`Ctrl-O` (コントロールキー + O) でファイルに書き込みます。ファイル名を確認してエンターキーを入力します。 `Ctrl-X` で `nano` を終了します。



`cc` コマンド (Cコンパイラ) で、ソースファイル `hello.c` から実行ファイルを作成します。

```
cc hello.c
```

`cc` コマンドは、何も指定をしないと `a.out` という名前の実行ファイルを作成します (`a.out` を実行 (`./` が必要))。

```
./a.out
```

`a.out` が実行され Hello World! が出力されました。



From:

<https://slab.math.ryukoku.ac.jp/> - **www-slab.math**

Permanent link:

<https://slab.math.ryukoku.ac.jp/lecture/prog2/wsl2cc>



Last update: **2020/09/11 21:25**